

Ba

膀胱留置カテーテル 抜去のリスク

不快感・疼痛

膀胱留置カテーテル抜去可能か、細いカテーテルに交換可能か
医師に確認する

膀胱留置カテーテルを抜去する

固定方法を変える

大腿部へ固定する

患者と相談しながら、不快感の無い部位へ固定する

ストッキネットなど肌触りの良い布で覆う

接続部を保護する

太いカテーテルであった場合、細いカテーテルに交換可能か医師に確認を取る

鎮痛薬の使用

医師へ確認し、座薬使用

腎機能が悪い場合

アンヒバ座薬

肝機能が悪い場合

ボルタレン坐剤

管が見えたり、 触れて気になる

ルートが視界に入らないようにする

カテーテルを足の裾から出す

車椅子乗車し、本人の興味のあるもので気をそらす

ナースステーションなど看護師の目の届く場所で過ごして頂く

上半身の丈が長い衣類(長着)、下半身に長ズボンを着用し、裾の先に手が届かないようにする

管類を忘れて 行動してしまう

書字理解可能

コミュニケーションボードを使用し、「●●しています」と貼り紙をするー①

訪室時に挿入物の説明をする

書字理解が困難

レッグバッグやDIBキャップに変更する

失見当識がある

可能な範囲で家族に面会してもらう

ドレーン

ドレーンの抜去 のリスク

不快感・疼痛

固定の確認

ルートが引っ張られないように固定

ゆとりを持たせてΩ止めし
テンションがかからないよう固定

※イレウス管・MT 疼痛に対してうがいを促す

鎮痛薬を使用

管が気になる

ルートが視界に入らないようにする

接続部を不織布で覆い隠す

車椅子乗車し、本人の興味のあるもので気をそらす(動画や本等)

※腹部ドレーン 腹帯やタオルで刺入部を覆う

※イレウス管・MT 鏡を用いて引っ張らないように説明

コミュニケーションボードを使用ー②

失見当識がある管類を忘れて
行動してしまう

コミュニケーションボードを使用ー④

※腹部ドレーンの場合 腹帯で固定

※リリアバックの場合 モニター用ポシェット袋に入れる

訪室時に挿入物の説明

※イレウス管、MT 鏡などで患者へ認識してもらう

看護師付き添いのもと実際に触ってもらう

可能な範囲で家族に面会してもらう

酸素投与

酸素チューブを外す
リスク

不快感・痛み・気になる

皮膚の観察

皮膚トラブルがある場合は医師へ相談

フィット感の確認

※マスク エスアイエイドなどで
フィットするよう調整

耳の裏にクッションを入れる

※カニューラ 顎下で
しめることに違和感がある

頭側から通す

呼吸器疾患がなく酸素飽和度が
保てている

主治医へ酸素投与指示の確認

付けていることを忘れる

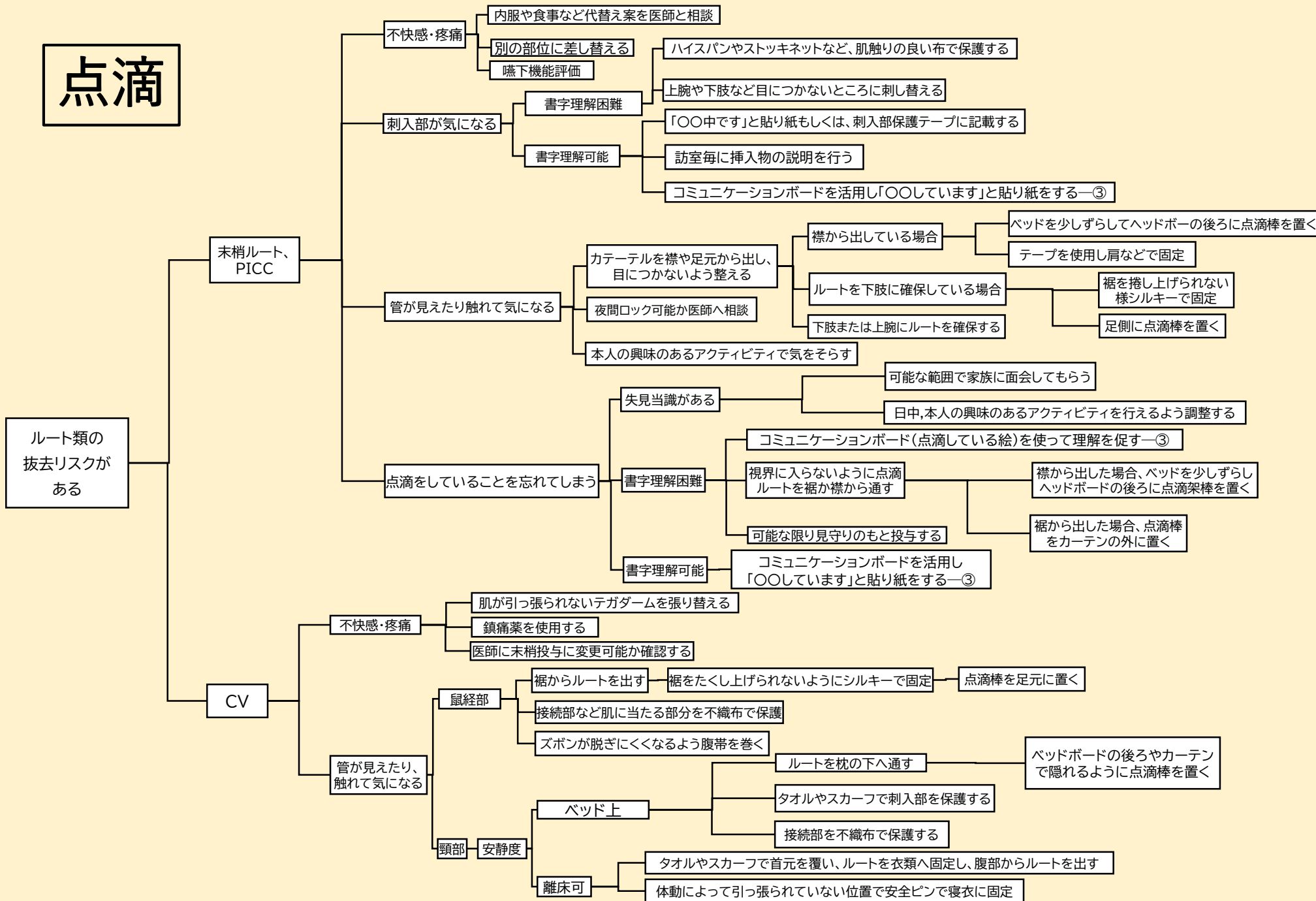
鏡で装着しているところを
みてもらう

コミュニケーションボードを使用
－⑥⑦

寝返りや日常生活動作時に動いて
外れてしまう

装着助助・テープで固定

点滴



帰宅願望

